

令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



架け橋プロジェクト 2023

実施レポート

公益財団法人としま未来文化財団

企画・発行：
公益財団法人としま未来文化財団
企画制作部 事業企画課 事業企画グループ

助成：令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

公益財団法人
としま未来文化財団

豊島区
TOSHIMA CITY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



文化庁

SDGs未来都市としま

豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



こどもとアートの 架け橋プロジェクト 2023

はじめに

本プロジェクトは、創造性を育み子どもたち一人一人の心理的な居場所となる「アート」と、
「子ども」との架け橋を創出するプロジェクトです。

豊島区内の様々な施設を活用し、気軽にアートに触れられる場を提供するほか、
子どもたちに向けてダイレクトにアプローチする体験活動を展開しています。

本誌は、2023年度「こどもとアートの架け橋プロジェクト」取り組みの記録です。
多くの方と共有し、次なるステップへの対話を広げていくことができたらと思います。

としま未来文化財団では豊島区が掲げる

「日常にアート・カルチャーが溢れるまち」の考えに基づき、
未来を担う若い世代が、文化に触れ、参加・体験できる機会創出のため、
この取り組みを発展させてまいります。

3-4p | 乳幼児向け芸術ワークショップ
親と子のアートサロン 0.1.2.のおもちゃ箱



5-6p | 区内児童施設等連携事業(子どもスキップ等連携事業)
身体表現ワークショップ「だだだだ・だ」



7p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業



8p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
電子工作ワークショップ
「タッチするとさえずる鳥の基板を作ろう」
打楽器ワークショップ
「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」



9p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
アフリカン・ミュージック・コンサート



10p | 子ども伝統文化体験事業
こども日本舞踊教室



11-12p | 多世代向け鑑賞事業
to R mansion『注文の多い料理店』



12p | 子ども・若者支援機関連携事業
招待事業

13-14p | 2023年度の実施を終えて(まとめ)

親と子のアートサロン

0.1.2.のおもちゃ箱

— 世界はステキな出会いに溢れている —



▶目的

「世界はステキな出会いに溢れている」を合言葉に0歳からの小さな人たちと共にある大人へ、たくさんの出会いの場をつくっていくこと目指しています。音楽・演劇・舞踊・美術などの様々なジャンルのアーティストを迎え、赤ちゃんと一緒に心和む空間の中、芸術や子育てについて思いをはせ、語れる場を提供しています。

▶2023年度の取り組み

赤ちゃんが五感をつかって楽しめるプログラムを目指し、今年度は音楽・美術・演劇の3種をお届けしました。1回目はピアノとソプラノで歌や音楽を届けるとともに、赤ちゃんに人気の絵本に音と声を乗せて読み聞かせをしました。2回目はたくさんの色や素材をつかって壁画に挑戦しました。3回目は日常と離れた空間演出の中でベビーシアターを開催しました。



▶事業概要

歌とピアノで感じる絵本(写真A)

- 日時 2023/5/2(火) ①10時開演 ②11時30分開演
- 会場 としま区民センター 多目的ホール
- 対象・人数 2歳児とその保護者向け 38組
- 料金 1,500円/組
- 参加アーティスト 鶴木絵里(ソプラノ)、中川賢一(ピアノ)

my first mural(写真B)

- 日時 2023/10/18(水) ①10時 ②14時
- 会場 ターナーギャラリー [豊島区東南長崎]
- 対象・人数 18~36ヵ月未満のお子さまとその保護者 18組20名
- 料金 1,000円/組
- 参加アーティスト 田中 紗樹(画家)

注文のない料理店 for Baby(写真C)

- 日時 2023/12/21(木) ①10時30分 ②11時40分
- 会場 あうるすぽっと ホワイエ
- 対象・人数 2ヵ月~14ヵ月のお子様とその保護者 合計19組41名
- 料金 1,000円/組
- 参加アーティスト 上ノ空はなび、野崎夏世、丸本すばじろう(to R mansion)、植本純米、森下亮、江戸川じゅん兵、藤居克文(くるくるシルク)、チャタ

- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



参加者の声

ピアノが大変情熱的で、その音とダイナミクスに興奮していました。A

子供が自由に聞きやすい会場設計、また時間もちょうどよく、内容も大人の私も楽しめてとても楽しかったです。A

60分は長いかと思いましたが、ハマりだしたらあっという間でした。B

貴重な体験ができて、とても楽しそうでした。B

不思議な雰囲気にもまれながら、子どもと素敵な世界に入り込むことができました。C

初めは怖がっていたけど、慣れてくると動き回って興味津々でした。C

▶これまでの「乳幼児向け芸術ワークショップ」の取り組み

- 2018年度** 日本児童・青少年演劇劇団協議会ベビーシアタープロジェクトと3ヵ年計画を立ち上げ、共催にて初開催。
2月 親と子のアートサロン @ぞうしがや こどもステーション
- 2019年度** 9・10月 親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーミニシアター @ぞうしがやこどもステーション
2月 親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーシアター @としま区民センター
- 2020年度** 10月 青空ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」@自由学園明日館
11月 ベビーミニシアター「マ・ブニュンカ!」@自由学園明日館
1月 床の上ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
1月 ベビーミニシアター「まる」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
- 2021年度** 7月 おとみくくと音の旅-楽器の島をめぐる!- @としま区民センター
9月 からだのこぼれおしゃべりしよう!-ゆったりのんびり親子ワークショップ- @雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
- 2022年度** 6月 ロバの音楽座「ポロンポロン」@としま区民センター
8月 ベビーシアターnido @としま区民センター
12月 ハッピー・メリー・プチ・パーチー @あうるすぽっと



逆・逆・逆をおもしろがろう！ 身体表現ワークショップ「だだだだ・だ」

▶目的

放課後時間を活用した、楽しく遊びながらの芸術活動を通し、子どもたちの創造力とコミュニケーション能力の育成を促すとともに、心豊かに育まれる文化環境の創出を目指しています。また、家庭環境等により文化芸術体験機会の少ない子どもにも直接的にアプローチし、体験の場を提供する事も重要な要素として位置付けています。具体的には、区内の学童施設等にアーティストの派遣や作品創作の機会の提供を行なっています。

▶2023年度の取り組み

夏休み期間に身体表現ワークショップを豊島区内の小学生の放課後の居場所(学童)である子どもスキップで実施しました。90分間でダンスを創作し、撮影・編集、最後に参加者で鑑賞するというプログラム。8施設から応募があり、抽選で選ばれた5施設での実施となりました。



▶事業概要

■日時・会場・参加人数

2023/8/2(水)10:15~12:00 子どもスキップ豊成 計10名
2023/8/2(水)14:30~16:30 子どもスキップ清和 計19名
2023/8/3(木)9:30~11:30 子どもスキップ西巣鴨 計12名
2023/8/3(木)14:30~16:30 子どもスキップ椎名町 計26名
2023/8/4(金)9:30~11:30 子どもスキップ南池袋 計18名

■料金 無料

■参加アーティスト んまつーポス

■主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区

■助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

■連携 豊島区教育委員会事務局 教育部 放課後対策課

※子どもスキップとは学校施設を活用して、小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開する豊島区の事業・施設

施設担当者の声

講師の先生方が子どもたちの発想を引き出しながら、それをすぐ形にしてゆく、表現としてまとめていくところがとても素晴らしいと感じた。

短い時間なのに、自分たちで考えたダンスから教えてもらったダンスまで、ほぼ覚え、楽しむ子供たちに感動しました。日頃注意されることが多い子が熱心に取り組み友だちをリードしていたり、今まで見られない姿を見ることができて良かったです。半日という短い時間で子どもたちにダンスの楽しさを味わわせていただき、さらに映像化してすぐに観る時間も作っていただき、本当にありがとうございました。

とても楽しく面白そうな企画なのに、チラシを配ただけでは希望者が少なく、その後の声かけで集まった様子でした。参加した子どもたちはどの子も大満足で、とてもいい姿を見せてくれていました。

子どもたちがいきいきとしてとても楽しそうでした。アーティストが子どもたちをとても盛り立てながらも、一人一人を大切にくださったので表現する楽しさをより感じる事ができたと思います。たのしい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

▶これまでの「区内児童施設連携事業」の取り組み

2017年度

一般財団法人地域創造と連携したリージョナルシアター事業としてスタート。
9・10月 職員向けワークショップ としま南池袋ミーティングルーム・南池袋小学校PCルーム
9・10月 子どもスキップ朝日・池袋本町・南池袋

2018年度

財団での単独開催となる。
8月 子どもスキップ目白・長崎・仰高・駒込・高松 5か所

2019年度

7月 職員向けワークショップ としま南池袋ミーティングルーム
8月 子どもスキップ清和・巣鴨・西巣鴨・さくら 4か所

2020年度

新型コロナウイルスの影響により、WEB上に「街」をつくる「さえかえカードをつくろう!! ~おいでよ みんなのさせかえWEBタウン~」(74作品)を実施。

2021年度

1月 「オリジナルのボールペンをつくろう!」を子どもスキップ朝日にて実施。新型コロナウイルスの影響により、子どもスキップ駒込での実施は延期。

放課後の小学生を対象とした演劇ワークショップのほか、職員向けワークショップを実施。



2022年度

5月 「オリジナルのボールペンをつくろう!」子どもスキップ駒込
8月 「ビーだまコロコロ城をつくってあそぼう!」子どもスキップ千早・巣鴨・朋有・さくら・富士見台



小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業

▶目的

小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業は、小学生をメインターゲットとして、学校や習い事とは別の場所でアートに出会い体験する場の創出を目的としています。アートの世界に誘ってくれるアーティストや、同世代の仲間たちと一緒に楽しい時間を過ごす中で、「好き」「得意」を見つけ、創造力・表現力・発想力・コミュニケーション力を磨きながら、健やかな身体と感性豊かな心を育ててほしいと願っています。

▶2023年度の取り組み

7月から8月に「としまアート夏まつり」の連携事業として、電子工作ワークショップ「タッチするとさえずる鳥の基板を作ろう」(写真A)、打楽器ワークショップ「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」(写真B)を実施しました。また、共催事業として「アフリカン・ミュージック・コンサート」(写真C)を開催しました。各事業の詳細は8~9ページをご覧ください。



- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
- 電子工作ワークショップ「タッチするとさえずる鳥の基板を作ろう」:としまアート夏まつり2023 連携事業
- 打楽器ワークショップ「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」:としまアート夏まつり2023 連携事業
- アフリカン・ミュージック・コンサート:としまアート夏まつり2023 共催事業

▶これまでの「小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業」の取り組み

- 2014年度~ 豊島区補助事業として、豊島区在住・在学の小学生を対象とした芸術体験プログラムを開始。
- 2018年度 音楽中心の舞台芸術を体験しながら自己表現の方法を学ぶプログラムとして開催。
- 2019年度 「夏休みこどもアートサーカス」として夏休み6日間の体験プログラムに再編。プログラミング、美術、身体表現、伝統芸能、音楽の5ジャンルを実施。(延べ580名参加)
- 2020年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「音楽」のワークショップを実施。(延べ187名参加) ミニアニメーション映画を制作しYouTubeで公開。
- 2021年度 オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「プログラミング」のワークショップ、現地開催で「造形(版画・切り絵)」と「音楽」ワークショップ、コンサートを実施。(延べ275名参加)
- 2022年度 7月から8月に「としまアート夏まつり」の事業の一環として「コマ撮りアニメーション ワークショップ」「カリビアン・ミュージック・コンサート」を実施。12月には「あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー」を開催。(延べ700名参加)

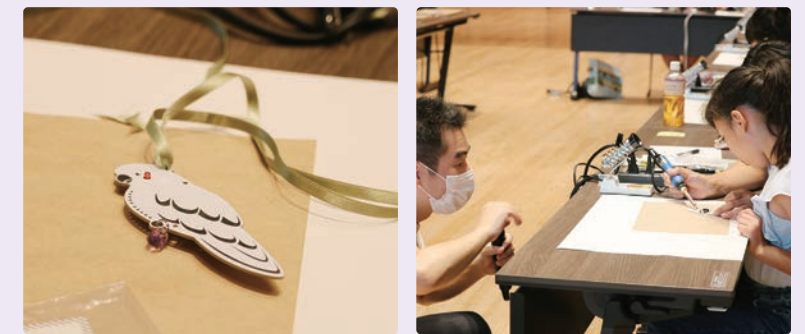
小学生向け 芸術ワークショップ& 鑑賞事業

電子工作ワークショップ 「タッチするとさえずる鳥の基板を作ろう」

▶事業概要

触れると音階が鳴り、メロディが奏でられる鳥のアクセサリを制作する電子工作ワークショップ。講師のオリジナル制作キットをはんだごて等の工具を用いて組み立てました。

- 日時 2023/8/11(金) ①12:30~14:30 ②16:00~18:00
- 会場 としま区民センター 多目的ホール
- 対象 小学生とその保護者
- 人数 合計20組40名
- 料金 1組(子ども・おとな各1名) 4,800円(参加費1,300円+材料費3,500円)
- 参加アーティスト アート・ユニット MATHRAX(マスラックス)



参加者・保護者の声

- 3つのぶぶんをくっつけてあんなにすてきなものができておもしろかった。
- たくさんの工具を使って、鳥を作ることができたのでいいけいけんにもなったし、楽しかったです。
- おしえ方がとてもわかりやすく、またやりたいと思いました。
- 基板という事でもっと無機質なものを想像していました。温かみを感じるもので参加しながら癒されました。(保護者)
- 親からは教えてあげることのできない分野なので、子どもにいい勉強になったかなと思います。はんだごて、久しぶりにさわりました。(保護者)
- とても分かりやすく丁寧に教えていただき、親の方も安心して参加できました。出来上がった鳥もステキでかわいかったです! その他、映像等で見て頂いた作品もとてもステキで、見て聴いてそれだけでいやされました。ありがとうございました!!(保護者)



小学生向け 芸術ワークショップ& 鑑賞事業

打楽器ワークショップ 「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」

▶事業概要

セネガル出身の打楽器奏者をはじめとした3名の講師を迎えてアフリカの民族打楽器であるジェンベを使用した打楽器ワークショップを開催。20台以上のジェンベが繰り広げる迫力満点のセッションとなりました。

- 日時 2023/8/12(土)①10:30~11:30 ②13:00~14:00
- 会場 としま区民センター 多目的ホール
- 対象 小学生とその保護者
- 人数 合計20組40名
- 料金 1組(子ども・おとな各1名) 1,200円
- 参加アーティスト Latyr Sy, Izpon, Massamba Sylla



参加者・保護者の声

- たたくのがとても楽しかった。またやってほしい!
- めちゃくちゃ楽しかったです。絶対また参加します!!サイコー!!
- アフリカの音楽を体験できる機会はなかなかなく、セッションが大人でも子どもでもとても楽しかったです。(保護者)
- なじみのないリズムを、さわったことのない楽器で演奏できて楽しかったです。2パターンだけのリズムでしたが、なかなかむずかしく、やりがいがありました。体験できて良かったです。(保護者)
- 皮も音を出すのに呼吸しているんだと初めて知りました。とても良い音でリズムにのるのが楽しかったです。ありがとうございました。(保護者)

アフリカン・ミュージック・コンサート

撮影:前澤秀登



▶事業概要

セネガル出身のアーティストらによる歌と民族楽器のコンサート。広く耳なじみのある人気の曲から本格的な民謡まで幅広いプログラムを実施しました。アフリカをイメージしたイラストを投影、最後にはミニダンスワークショップのコーナーを設け、アフリカの音を全身で楽しみました。

- 日時 2023/8/13(日) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00
- 会場 としま区民センター 8F 多目的ホール
- 人数 339名(①165名 ②174名)
- 出演 Latyr Sy(パーカッション&歌)、Izpon(パーカッション)、タケウチカズタケ(鍵盤)、Abdou(ダンス)
- 対象 3歳以上(未就学児入場可)
- 料金 大人1,500円、子ども(3歳から中学生) 500円
- 全席自由
- ステージイラストレーション 姫田真武
- 曲目 Latyr solo、Sollow、Circle of Life、Africa、The Lion Sleeps Tonight、Kumba、Percussion Session(ミニ・ダンスワークショップ)、Assiko



参加者の声

見たことないものがたくさんあったので、とても楽しかったです。

アクセントの入れ方がすごかった。とても良い物が見れました。ありがとうございました。リズム感がとてもよかったです。楽しかったです。(保護者)

アフリカの楽器や曲を聞いて楽しかったです。どれも盛り上がる曲ばかりだったし、最後にみんなでダンスができてよかったし、楽しかったです!!また機会があったら参加してみたいと思いました!!(保護者)

アフリカ音楽を直接聴けたのは初めてでした。力強く優しい音や声をきけてよかったです。アフリカの大地を想像させてくれました。背景のイラストもかわいく、はっきりした色使いがきれいでした。(保護者)

子どもも楽しかったようで良かったです。アフリカには色々な民族や言葉や楽器があることに触れる機会となり、良かったです。(保護者)

色々な楽器を使用し、オーケストラや吹奏楽などでは聴くことのできない音色などを楽しむことができた。豆知識を含めた会話も面白かった。(保護者)

こども日本舞踊教室

▶目的

日本舞踊のお稽古と舞台発表を通じて、礼儀作法や美しい所作を身に付けるとともに、踊りの楽しさや奥深さを知り、こどもたちの日本伝統文化への理解を深めることを目的としています。

▶2023年度の取り組み

小学1~2年生のチームA、小学3~6年生のチームBの2つに分かれ、6月~8月に日本舞踊のお稽古を8回実施しました。最後は8月18日に行われた日本舞踊の公演「華麗なる彩り 小会」にて、お客様の前でお稽古の成果を披露しました。

▶事業概要

- 日時 お稽古 2023/6/4(日)、6/11(日)、6/18(日)、7/2(日)、7/9(日)、7/23(日)、7/30(日)、8/6(日)
- ①チームA 9:30~10:30
- ②チームB 11:00~12:00
- 下ざらい 2023/8/10(木) 18:00~19:00
- 舞台稽古 2023/8/13(日) 9:45~11:30
- 本番 2023/8/18(金)
- 会場 としま区民センター和室、南大塚ホール
- 対象 豊島区在住・在学の小学1年生~6年生
- 人数 20名(各チーム10名ずつ)
- 料金 3,500円
- 講師 としま区日本舞踊家集団

- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
- 連携 豊島区教育委員会事務局 教育部 放課後対策課



参加者・保護者の声

すりあしでまわるところがむずかしかったです。

たのしかったことは、みんなでおどったことです。むずかしかったことは、なかったです。

2ばんの さくらさくら のとこがむずかしかったです。先生今までおしえてくれてありがとうございました。また、あたらおしえてください。

日本ぶようをやって楽しかった事は、さらしぶんどです。たいへんだったけれど、本きだしてやったらできたので、たのしくなりました。

普段なかなか学べる機会がない日舞を一から学べる機会を頂くことができ、大変良い経験になりました。おどりだけでなく、美しい所作も教えて頂き、本人だけでなく親としても参加をさせて頂き良かったと感じております。本人もとても喜んでおけいこしてました。(保護者)

日本舞踊がどういうものが全く知らない我が子でも、発表会に出演できるようになるまでになれたことが驚きと共に、先生方やスタッフの皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。この夏新たなことに挑戦できたことが、本人も嬉しそうで、とても成長を感じました。これからも「日本舞踊を続ける!!」と言っております。(保護者)

▶これまでの「子ども伝統文化体験事業」の取り組み

2010年より子どものための日本舞踊ワークショップを開催し、としま区日本舞踊家集団が講師を務め、お稽古の成果を「華麗なる彩り」やワークショップ最終日を発表会として披露している。

- 1997年
- 2010年
- 2012年
- 2015年
- 2016年
- 2017年
- 2019年3月
- 2019年10月26日
- 2020年
- 2021年
- 2022年

- 区補助金事業(会場提供公演)として「華麗なる彩り」(当財団・豊島区 主催)を開催。子どもを対象とした日本舞踊ワークショップを開始。
- 豊島区制施行80周年を記念し、創作清元「豊島巡名所踊絵」にて披露。
- 「さよなら豊島公会堂特別公演 華麗なる彩り」を豊島公会堂にて披露。
- 東京芸術劇場プレイハウス「華麗なる彩り」にて披露。
- 「華麗なる彩り 小会」にて披露。
- 東京芸術劇場プレイハウス「華麗なる彩り」にて披露。
- 豊島区立芸術文化劇場のプレオープン公演として「華麗なる彩り」にて披露。
- 豊島区民センターにて発表会として披露。(関係者のみ)
- 南大塚ホール「華麗なる彩り 小会」にて披露。(発表は2022年)
- 豊島区民センターにて発表会として披露。(関係者のみ)

to R mansion『注文の多い料理店』



▶目的

友達同士や親子・家族などが一緒に舞台を楽しむことができる質の高い作品をお届けし、これまで劇場にあまり訪れたことのない人たちに、劇場を身近に感じてもらうことを目的に実施しています。

▶2023年度の取り組み

宮沢賢治の「注文の多い料理店」の100年後の世界を、世界で活躍中のパフォーマンスカンパニーに上演いただきました。初めて演劇に触れる人でも楽しめる内容を伝えられるよう、チラシやメインビジュアルも親しみやすさを重視しました。大人から子どもまで安心して観劇できるよう配慮し、たくさんの方への鑑賞機会となりました。



▶事業概要

- 日時 2023/12/22(金)19時
2023/12/23(土)11時★、15時
2023/12/24(日)11時★、15時
2023/12/25(月)11時★
★チャイルドシアター回(赤ちゃん連れOKな回)
- 会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
- 人数 計1307名
- 料金 一般3,000円、24歳以下 2,000円、学生以下 1,000円
- 【原作】宮沢賢治 【脚本】目次立樹(ゴジゲン)
【演出】上ノ空はなび 【共同演出】小島康嗣
【音楽監督】イーガル 【演奏】イーガル 渡辺庸介
【出演】上ノ空はなび、野崎夏世、丸本すばじろう(to R mansion)、
植本純米、森下亮(クロムモリブデン)、江戸川じゅん兵、
藤居克文(くるくるシルク)、チャタ



- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



子ども・若者支援機関 連携事業

招待事業

▶目的

本事業は、経済的格差や家庭環境によって生じる文化的体験機会の差を少なくし、文化芸術を通して生み出される居場所や創造性を育むことを目的としてスタートしました。鑑賞事業への招待のほか、アーティストが身近に感じられるよう日常空間にも直接体験の機会を届ける取組を実施してきました。

▶2023年度の取り組み

今年度は、鑑賞事業への招待を実施しました。文化芸術に出会う機会を創出し、価値観の多様性を知り豊かな生き方や考え方のヒントを得るきっかけになればと思っています。

▶事業概要

招待事業

- 日時・招待公演名
2023/8/13(日) アフリカン・ミュージック・コンサート
2023/8/27(日) LIVE MUSIC in HAREZA WAIWAI STEEL BAND
2023/12/22(金)~25(月) to R mansion『注文の多い料理店』
2024/1/20(土)~21(日) LIVE MUSIC in HAREZA 2024 SPECIAL
2024/3/16(土) 旅するイラストレーター キンシオタニのとしま区さんぽライブ~歩いて色々見つけたよ~
- 参加人数 130名
- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
- 連携 認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、豊島区児童相談所

参加者の声

たのしかった。ちょっとドキドキした。
おやぶんさんがおもしろかった。ペロがおもしろかった。

「注文の多い料理店」は知っていたけど、
オリジナルな部分がたくさんあっておもしろかった。

生演奏、生歌でぜひたくに、笑いあり、
ちょっぴり切なくすてきな公演でした。

子どもには初めての舞台経験でした。
とても楽しかったようです！

ストーリーも皆さんの演技も素晴らしくて、面白くて、笑えばなしの90分でした。
親子でさらにファンになりました。

始まる前から犬さんが客席を盛り上げてくれたので、会場に一体感が生まれ、子どもたちが舞台に惹きこまれて集中して観てくれました。
開始前の大きい音、暗闇の練習も小さい子が泣かないように配慮されていてとても良かったです。

▶これまでの「子ども・若者支援機関連携事業」の取り組み

- 2018年度 豊島区内のこども食堂・無料学習支援団体等との連携により、出張ミニコンサート「みんなの音楽」の開催、鑑賞事業へのご招待をスタート。
10月「椎名町こども食堂ミニコンサート~口笛とピアノで奏でるハーモニー~」@椎名町こども食堂 金剛院 蓮華堂
12月「クリスマス ミニコンサート~あたたかで華やかな5色の金管楽器の響き~」@中高生ジャンプ東池袋 ホール
- 2019年度 通年 鑑賞公演招待(14公演・120名参加)
- 2020年度 新型コロナウイルスの影響により「アートキット」の配布(250セット)、アーティストとのコラボレーション作品制作、記念品(エコバック)制作、展示(9ヶ所)を実施。
- 2021年度 「アートキット」の配布(300セット)のほか、放課後児童施設にてキットを使用したワークショップを実施。アーティストとのコラボレーション作品を制作。記念品としてコラボレーション作品のカレンダーをプレゼント。
- 2022年度 「こどもたち×アーティスト 丸シールアート」作品巡回展示(6ヶ所)を開催。鑑賞公演への招待を実施(4公演・50名参加)。

2023年度の実施を終えて

アーティストの声

アーカイブ & 最新情報はこちらから!



親子のアートサロン 0.1.2のおもちゃ箱「my first mural」 田中紗樹さん(画家)

「初めての壁画に挑戦してみよう!」という内容で子どもたちに絵の具で思いきり遊んで貰いました。会場は画材の会社ターナーさんのギャラリー。おかげで広々大胆に絵を描く事が出来ました。手や足を使ってダイナミックに描く子、水と絵の具を混ぜて楽しむ子、いつまでも制作に集中する子、それぞれの個性が光る制作となりました。普段お家では出来ないようなグチャグチャ絵の具遊びを好きにだけ。いつの間にか付き添いのパパママも夢中になり家族で楽しんで貰えたのが嬉しかったです。最後出来上がった壁画から好きな部分を選びカット。自分だけの壁画のかけらを持ち帰る「壁画アーティスト証明書」をプレゼント。みんな誇らしげに一人前のアーティストとなって帰っていく様子がとても印象的でした。



逆・逆・逆をおもしろがろう! 身体表現ワークショップ「だだだだ・だ んまつーぽす(コンテンポラリーダンスカンパニー)

「子どもスキップ」から約半年。振り返りを兼ねて作成したフォトブックを見返しています。事前に5カ所の「スキップ」についてヒアリングし、施設ごとの特色、持ち味、そしてウリがあることがわかりました。それを知る/知らないでは最初の5分(みんなのこと教えての勝負の時間)が変わります。「子どもたちが大満足」「日頃注意される子が熱心に取り組み、友達をリードしていた」(事後アンケートから抜粋)ができたのは、事前の情報があつてのことでした。サブタイトルは、「逆・逆・逆をおもしろがろう!」。僕は「スポーツマン」の逆読み。「んまつーぽす」は五十音順で最後だけ、「先頭ではなく最後尾もいいね!」だったり、「子ども=未来の大人」「大人=昔の子ども」のように逆から見たり考えたり価値づけたり。そんな僕らが大事にしていることも、ちゃんと子どもたちに伝わっていたんだな!と、改めてフォトブックを開いてわかりました。また別の「スキップ」でも、「未来の大人」とダンスをつくりたいな!



アフリカン・ミュージック・コンサート/打楽器ワークショップ「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」 ラティール・シー(パーカッショニスト)

ワークショップではアフリカの太鼓ジェンベを親子で一緒に叩いて楽しんで頂きました!ジェンベは1本の木をくり抜き羊皮を張って作られている太鼓ですが、叩く位置や手の使い方によって音の色が生まれる事が体感できます。大地に響き渡る強烈な音を身体中に浴びる気持ち良さ、体内に眠っているリズム感覚が呼び覚まされ自然と体が動いてしまう楽しさに、最後は親も子どもも太鼓を叩く手が止まらない程!コンサートではライオンキングなど馴染みのある曲をリアルな雰囲気の中で楽しんで頂いた他、ダンサーの振り付けに合わせアフリカンダンスまで踊って頂き、親子の皆さんに心も体もリズムカルに解きほぐされた、楽しい時間を過ごして頂きました!バンバラ語でジェ=「皆が集まる」+ベ=「平和」が語源の楽しい太鼓!故郷セネガルでは、母親のお腹にいる時から太鼓のリズムを聞いて大きくなります。豊かな感性を育み、国境を越え皆で音楽を楽しむ素晴らしさを是非多くの子どもの心に体験して頂きたいです!



こども日本舞踊教室 西川扇重郎(日本舞踊家)

10年以上続けられている「こども日本舞踊教室」。今年度もまた、8月の成果発表の浴衣会に、小学生が多数参加し日本の伝統文化を体験して下さいました。稽古から浴衣を着て、振りを覚えたり、小道具の晒しを振ったり、慣れないことの初体験の連続で、子ども達なりに試行錯誤しながら舞台当日を迎えました。稽古では、日本舞踊を初めて経験する子ども達の保護者の方も一緒に動いてその体験を共有することもあり、家族ぐるみで日本舞踊の魅力に触れていただけたのではと自負しております。子ども達は、礼節を重んじる素直な心と、自分自身がいろいろな役に变身できる喜びと緊張感を合わせ持ちながら舞台上に立ちました。幕が閉じた瞬間、緊張から解放された安堵感と達成感、そのキラキラした瞳を忘れることができません。このキラキラ輝いている子ども達を見たら逆に元気ももらいますよ~!!また、たくさんの子どもの心に体験していただきたいです。



注文の多い料理店 / 注文のない料理店 for baby to R mansion(パフォーマンスカンパニー)

子どもたちの笑い声や登場人物たちを応援する歓声がおこった場面、大人の笑い声に満ちた場面、しんと静かにお話の行方を見守ってくれている場面など、公演中にも、様々な年齢のお客様がそれぞれに心を揺らして一緒に物語を旅していることが伝わってくる、一体感を感じられる公演となりました。今回は、財団の制作チームの皆さんと話し合いながら、劇場に着いた瞬間から、観劇をして劇場を出る最後の瞬間まで、「注文の多い料理店」の世界に浸って楽しむことができるように工夫しました。劇場の入り口に森の中の抜けていくような緑のトンネルを作り、トンネルを抜けると、ロビーには劇中の西洋料理店「山猫軒」の世界を思わせるような空間を創りました。子どもたちは、ロビーに飾られた150本ものおたまでできたツリーに、「未来の自分への注文」をテーマに、絵や字をかいたカラーボールをのせ、楽しんでいる様子がみられました。初めてto R mansionを観た、というお客様も多くいらっしゃり、この公演をきっかけに、年明けの他公演にもお出かけくださったことがわかりました。観劇が、親子のお出掛けの選択肢のひとつとして、もっともっと広がってほしいと思います。

としま未来文化財団 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@toshimamirai14/videos>
過去の事業の様子等を紹介しています。



YouTube

特設WEBサイト一覧

<https://toshima-pjt.jp/>
過去の特設WEBサイトを
ご覧いただけます。



特設WEBサイト一覧

としま未来文化財団 ホームページ

<https://www.toshima-mirai.or.jp/family/?cl=on>
最新情報を発信しています。



ホームページ

制作スタッフの声

今年度は演劇、ダンス、電子工作といった新しいジャンルも取り入れ、バリエーション豊かに実施することができました。アーティストの皆さんが作品やワークショップの中に子どもたちが夢中になる仕掛けをたくさん散りばめてくださったおかげで、色々な反応や表情、感想に触れることができ、我々スタッフもとても刺激になった1年でした。来年度もたくさんの方のかけがえのない芸術体験をしていただけるよう尽力したいと思います。(山田)

今年度は子どもを対象とした事業について中長期的な視点をもってどう取り組むかをあらためて考えるところからスタートしました。新しいジャンルを取り入れたり、子どもに関わる支援施設との連携を新たに模索するなど、来年度以降の展開を見据えて着実に取り組むことができたと思います。これからも様々な環境/背景を持つ子どもたちへ楽しいプログラムを届けることができると考えています。(御子柴)

長らく続いた感染症の規制が、大きく緩和された中でイベントが実施できた今年度。夏に開催した「アフリカン・ミュージック・コンサート」では子どもも大人も入り混じって踊る場面もあり、マスクの下に隠れていた無邪気な笑顔が久々に見ることが出来ました。一つ一つの小さな経験も、子どもたちにとってはその後人生の土壌となりうることを忘れず、そのまばゆい可能性の欠片の一つになるような上質な体験を提供できるよう、今後も努めていきたいと考えております。(櫻井)

コロナ対策の規制が緩和された今年度は、ここ数年できずにいた参加者同士の交わりが生まれるような企画を意識しました。音や色や体の動きを使い、楽しさや可笑しさを一緒に分かち合いながら、参加者みんなのエネルギーが重なり、その時だけの空間がつくれたような気がしています。そんな場に立ち会っていることに感謝しつつ、これからも芸術体験を通してたくさんの方の出会いの場をつくっていききたいと思います。(草ヶ谷)

「こども日本舞踊教室」を担当しました。最初は緊張気味だった子どもたちですが、先生の話をよく聞いて真剣な表情でお稽古に取り組む姿が印象的でした。発表会の前には他校からの参加者とも打ち解け、待ち時間に仲良く話をする姿に微笑ましい気持ちになったのを覚えています。参加した子どもたちが何年経っても「前にこんな経験をして楽しかったな」と思い出してもらえるような、記憶に残る事業づくりを行ってきたいと思います。(小林)

「0.1.2のおもちゃ箱」の担当スタッフとして事業に携わりました。今年度は音楽、壁画アート、ベイビーシアターを楽しむ機会を提供しました。沢山のご応募をいただき、赤ちゃんと一緒に文化芸術に触れて心が揺れ動く体験機会が求められていること、そしてその重要性に改めて気がつきました。今後も赤ちゃんと一緒に楽しめる様々な芸術を提供できるように努めていきます。(松本)